

**18春闘総括の一致なくして次のたたかいには進めない！**  
**18春闘の主体的総括をすべきだと多くの声が出る！**

## ～第1回全地本青年部代表者会議開催～

2018年10月26日、JR東労組青年部は、第1回全地本青年部代表者会議を開催しました。会議では、各地本青年部から定期委員会の報告を受け、青年部リーダー1人ひとりの価値観から各々が見解を示すことを基礎として議論しました。18春闘総括と制裁審査中の元中執が拡散依頼したとされる「真実公社」なる所が開設したHP「真実の声」について活発な相互討論を行いました。

### ○18春闘の総括について

青年部としてもこれまで18春闘の総括について議論を続けてきましたが、一部の地本青年部と認識一致を図ることができず、秋のたたかいに向けた議論も行うことができませんでした。

参加者からは「地本青年部として、18春闘は『大敗北』と総括をしていない。」「地本青年部常任委員会でも議論していない。」「大勝利とも言えないが、大敗北とも言えない。」との見解が示されました。「自分たちが青年部員を本当に組織化出来ていたなら不当労働行為を受けても脱退しないのではないか？」「大敗北の総括は決して後ろ向きな総括ではない。」といった発言もあり、総括の一致を図るための議論をしてきました。

また、ある地本青年部定期委員会の懇親会で、「本部青年部、大宮は闘っていない。大宮は指名ストに5名しか決意していない。」とウソとデマが言われている事実があることも議論してきましたが、参加者からは「事実を把握していない。」とのことでした。改めて中央常任委員会までに事実を把握し議論することも確認しました。また、本部青年部第33回定期委員会で議論になった役員の辞任に対して、2ヶ月経った現在でも正しい事実経過が伝わっていないことも明らかになりました。

### ○「真実の声」について

参加者からは「事実をねじ曲げ、個人を誹謗中傷する悪辣なホームページだ。」「組織破壊であり、許せない！」「これ以上ウソやデマをアップするのはやめてほしい。」等の声が出されました。

**ウソと誹謗中傷を繰り返す「真実の声」は、組織破壊であることを全参加者で確認！**

**青年部の真の団結のために自らの感性を磨こう！**